

# 学校教育教員養成課程

## 課程のアドミッション・ポリシー(AP:入学者受入の方針)

### <求める入学者像>

幼児・児童・生徒の発達と学習に対して幅広い興味と関心を持ち、教育に関する諸問題について、自ら積極的に解決し、教師として社会に貢献しようとする意欲のある人を求めています。

教育や発達、教科に関する課題を積極的に探究し、解決に向けて自ら思考し、対話を通して相互理解に努めようとする人の入学を期待します。

## 課程のカリキュラム・ポリシー(CP:教育課程編成・実施の方針)

本課程では全員に教員免許状の取得が求められています。そのため、全員が教育や教育心理、各教科の教育法などに関する所定の「教職に関する科目」、「教科に関する科目」、「教育実習」を履修し、「介護等体験」を行います。「初等教育コース幼年教育サブコース」では、小学校教諭一種免許状に必要な諸科目に加え、幼稚園教諭一種免許状に必要な幼年教育の関連諸科目を重点的に履修します。「初等教育コース小学校サブコース」では、小学校教諭一種免許状取得に必要な諸科目を重点的に履修します。それに加え、小中一貫教育を見据えて中学校教諭一種あるいは二種免許状の取得に必要な諸科目を履修できるようになっています。「中等教育コース」では、中学校の各教科に対応した「専攻」に分かれ、それぞれ中学校教諭一種免許状取得に必要な諸科目を重点的に履修します。さらに中学校の複数教科の免許状あるいは他校種(小学校教諭、高等学校教諭)の免許状も取得可能なように配慮されています。

このほか、選択科目として、1年次から各種の実習、それに即応した省察科目、学生の自主性を尊重した地域連携実習、現代的諸課題に応じた科目などが多様に用意されています。

これらにより、学生は理論を学び、実践を体験し、他者との交流を通じた省察によって自らを振り返り、関心・意欲を高め、さらに学びを深め、教師としての基本的力量を形成していきます。

## 課程のディプロマ・ポリシー(DP:卒業認定・学位授与の方針)

### <課程の教育理念と教育目的>

学校教育教員養成課程は、優れた学校教員の養成を目的とし、初等教育コース(幼稚園・小学校教員)と中等教育コース(中学校・高等学校教員)から成ります。いずれも教員免許状の取得のために共通に履修すべき授業科目のほかに、「初等教育コース」では、主として幼稚園・小学校教員として必要な関連諸科目を、「中等教育コース」では、主として中学校・高等学校教員として必要な教科の専門科目及び教科指導法をそれぞれ重点的に履修します。また、カリキュラムには初年次からの各種の実習と多段階の「省察」の機会が組み込まれ、「振り返り」を媒介として理論と実践の有機的統合を図り、実践的指導力と豊かな人間性とを兼ね備えた学校教員を養成します。

なお、希望者には保育士資格、学校図書館司書教諭資格の取得も可能です。

## <学習の到達目標>

(知識・理解)

1. 教育と教職に関する確かな知識と、得意とする分野・教科等についての専門的知識を修得している。

(技能)

2. 教育活動に取り組むための十分な技能を身につけている。

(思考・判断・表現)

3. 教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方を理論に基づいて総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる。

(興味・関心・意欲、態度)

4. 教師としての使命感や責任感を持ち、教育的愛情を持って幼児・児童・生徒に接することができるとともに、自己の課題を明確にして理論と実践とを結びつけた主体的な学習ができ、自主的に社会に貢献しようとする。